校閲用原稿提出時は，著者の情報を隠すために，黄色マーカーの部分の文字は，同じスペース分の○（白丸）で置き換えておく。

論　文　*ORIGINAL ARTICLE*

（1 行改行，行間固定値 18 ポイント）

植生基盤の硬度および…… エゾマツ（*Picea jezoensis* Carr.）の生育

（1 行改行，行間固定値 18 ポイント）

題目～所属が 2 行にまたがる場合は，きりの良いところで改行しても構わない

緑化太郎*1)・緑　花子 2)

（1 行改行，行間固定値 14 ポイント）

1）　○○大学大学院農学研究科　Graduate School of Agriculture, ○○○○ University
2）　○○植物生態研究所　○○○○ Research Institute of Plant Ecology

（1 行改行，行間固定値 14 ポイント）

摘要：○○用紙全体の余白：上 35 mm，下 30 mm，左右 17 mm○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○「摘要：」や「キーワード：」という見出しは MS ゴシック太字，8.5 ポイント○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○摘要やキーワード本体は，8.5 ポイント，行間固定値 12 ポイント○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○摘要は 300 字以内，1 段落（改行しない）○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○…。

キーワード：植生基盤，土壌硬度，エゾマツ，…　6 語以内

（1 行改行，行間固定値 12 ポイント）

RYOKKA, Taro and MIDORI, Hanako: **The hardness of the planting ground and … for the relationship of the growth of *Picea jezoensis* Carr.** 英文タイトルのみ太字にする。9 ポイント，行間固定値 12 ポイント

Abstract: 「Abstract:」や「Key words:」という見出しは Century 太字，8.5 ポイント○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○Abstract や Key words 本体は，Century，8.5 ポイント○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○改行せず 100 語以内○○

Key words: planting ground, soil hardness, *Picea jezoensis* Carr.…　6 語以内。普通名詞は小文字で始める

（1 行改行，行間固定値　14 ポイント）

1.　はじめに（行間を 2 行に設定する）

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○本文：9 ポイント，27 字×48 行×2 段組の設定○○○○○○段間　4～6　mm○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○全角 MS 明朝，英数字・記号は Century○○○○○○○○○句読点は「，」と「。」○○。○○。

2.　材料ならびに方法　2 の後，スペース

○○。

2.1　供試吹付材料および供試植物　2.1 の後，スペース

○○。

2.1.1　供試吹付材料　2.1.1 の後，スペース

1）　主基盤材

○○○（この位置は天でない。図表写真を入れない）○○学名初出は命名者名も入れる○○○○○○○○○○○○○○エゾマツ（*Picea jezoensis* Carr.）○○○○○○○○○○○以降は省略：エゾマツ，または *P. jezoensis* ○○○○○○○生物名：和文はカタカナ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

○○

＊連絡先著者（Corresponding author）：〒000-0000　○○○○○○○○○○○○○　E-mail：○○○○@○○○○○○○○○

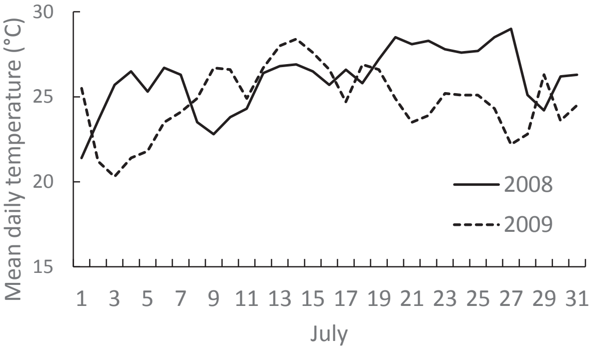

図-1　和文表題，MS 明朝，8.5 ポイント，左詰め（「図-1」は太字）

Fig. 1　英文表題，Century，8.5 ポイント，左詰め（「Fig. 1」は太字。スペースを入れたあとに表題を記入する。複数行にわたる場合は，インデントして折り返す。）

（図表と本文の間を 1～2 行空けて区別を明確にする。）

〇〇〇図・表・写真の挿入位置：天・地（ページ上・下部分）〇〇本文中には挿入しない〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇。

〇〇文献引用例〇〇〇1, 3, 4-6)〇。

〇〇〇図-1 ハイフンあり（図 1 ではない）〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇表-1 ハイフンあり（表 1 ではない）〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇写真-1 ハイフンあり（写真 1 ではない）〇〇〇。

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇注記は本文中に収めることとし，引用の形をとらない〇〇。

写真-1　和文表題：MS 明朝，8.5 ポイント，左詰め（「写真-1」は太字）

Photo-1　英文表題，Century，8.5 ポイント，左詰め（「Photo 1」は太字。スペースを入れたあとに表題を記入する。複数行にわたる場合は，インデントして折り返す。）

〇〇を式 1 に示す。

$$W = \frac{G}{S \cdot (P / 100) \cdot (B / 100)} \tag{1}$$

数式はセンタリングし，式番号は括弧書きで右詰めにすること。〇〇。

〇〇。

表-1　和文表題：MS 明朝，8.5 ポイント，左詰め（「表-1」は太字）

Table 1　英文表題，Century，8.5 ポイント，左詰め（「Table 1」は太字。スペースを入れたあとに表題を記入する。複数行にわたる場合は，インデントして折り返す。）

Tree ID	Tree height growth (cm)	Diameter growth (mm)
A	17.9	2.3
B	22.5	3.5
C	31.0	3.6

○○。

○○○。

○○○。

（1 行改行，行間 1 行）

謝辞：○○投稿時には記載せず，必要なスペースのみ確保する。掲載決定後の正原稿を提出する際に記載する。「謝辞：」は MS ゴシック太字○○○○○○○○○○○○。

引用文献

1）　中西　哲（1977）群落の生活型構造．伊藤秀三編，群落の組成と構造，朝倉書店, pp. 193-251.
8.5 ポイント，行間固定値 12 ポイント
著者名の 1 文字目と 2 行目以降の先頭の文字をできる限り揃える。
引用順ではなくアルファベット順であることに注意
2）　日本緑化工学会編（1990）緑化技術用語事典．山海堂，280 pp.
3）　大手桂二（1989）山腹緑化施工地の評価手法に関する研究. 緑化工技術, 14(1): 12-20.
4）　Tobias, D. J., Yoshikawa, K., Ikemoto, A. and Yamaguchi, H. (1994) Seasonal changes of leaf chlorophyll content in the crowns of several broad-leaved tree species. J. Jpn. Soc. Reveget. Tech., 20(1): 21-32.
5）　山中典和・王　林和・吉川　賢（2000）中国内蒙古毛烏素沙地における臭柏(*Sabina vulgaris* Ant.)更新場所の微環境. 日本緑化工学会誌, 25: 427-430.
6）　環境省. (更新: 2014 年 8 月 1 日) “特定外来生物等一覧”. 環境省ホームページ. http://www.env.go.jp/nature/intro/1outline/list/index.html (参照: 2014 年 8 月 8 日).
7）　気象庁．“過去の気象データ検索”．気象庁ホームページ. http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php (参照: 2014 年 8 月 8 日).

（1 行改行，行間固定値 12 ポイント）

(2017年○○月○○日受理)

受理年月日は，受理を通知された後，完成稿に記入。投稿時は括弧のみ記載。
最終ページは左右段の下端を揃える。（下端がきれいに揃わない場合があるため，1 行のずれは問題ないこととする。）